

益子陶芸美術館  
Mashiko Museum of Ceramic Art

栃木県芳賀郡益子町益子3302-1  
TEL: 0285-72-7555  
www.mashiko-museum.jp



「和田」2020年

回覽

開館30周年記念

和田的  
光と陰  
展的

Ceramic Artist : Wada Akira

2023.7.30[日] → 10.9[月・祝] 開館時間 9:30 → 17:00 ※入館は閉館30分前まで

■休館日：月曜日(祝休日の場合は翌日) ■入館料：大人600円(550円)・小中学生300円(250円) ※( )内は20名以上の団体、65歳以上は300円(要証明)

■主催：益子町文化のまちづくり実行委員会 益子陶芸美術館 ■後援：下野新聞社 とちぎテレビ 栃木放送 エフエム栃木 真岡新聞社



1 《白器「自転車」》2020年 2 《流水》2017年 3 《白器「太陽」》2020年 4 《白器「ダイ/台」》2017年

5 《白器水指「表裏」》2016年 土岐市美濃陶磁歴史館 蔵 6 《青白磁押文皿》2010年 伊藤幸一氏 蔵

7 《ENERGY》2016年 茨城県陶芸美術館 蔵 8 《白磁香炉》2006年 9 《茶盤「御神渡り」》2020年 国立工芸館 蔵

和田的(わだ・あきら/1978~)は、千葉県千葉市に生まれ、小学生の頃に家族とともに佐倉市に転居し、現在も同市で作陶しています。

2001(平成13)年に文化学院芸術専門学校陶磁科を卒業後、同年、有田出身で佐倉に窯を持つ陶芸家・上瀧勝治(1941~)に師事し、第41回伝統工芸新作展(東日本伝統工芸展)に初入選します。その後2005(平成17)年に独立し、佐倉市に窯を築きました。2007(平成19)年に第35回新作陶芸展(伝統工芸陶芸部会展)で日本工芸会賞を受賞したのをはじめ、日本伝統工芸展、菊池ビエンナーレ、日本陶芸展、バラミタ陶芸大賞展など数々の公募展で受賞して陶芸家としてのキャリアを着実に積み、現在では現代日本を代表する陶芸家の一人に数えられています。

一方で、和田はFRPやステンレスを用いた造形作品をも手掛け、彫刻の分野においても2011(平成23)年の第24回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)で受賞するなど、幅広い才能を発揮しています。本展では、銅版画や彫刻作品、そして彫りと削りを極めた陶芸作品の数々を紹介します。

## 【イベント】

益子国際工芸交流事業 連携企画 和田的氏講演会  
テーマ：「陶芸家のキャリア形成について考える」

日時：8月5日(土) 14:00-15:00

会場：益子国際工芸交流館(陶芸メッセ・益子内) 入場無料

話し手：和田的氏 聞き手：益子国際工芸交流事業スタッフ

作家によるギャラリートーク

日時：9月23日(土・祝) 13:30-14:30

会場：当館1階展示室 要企画展チケット

## 【同時開催】

スポットライト「追想 瀧田項一」

7月30日(日)~10月9日(月・祝)

会場：当館2階展示室

要企画展チケット

益子国際工芸交流事業 2022

益子とリーチ工房 次の100年へ

榎田智+岩下宗晶+ルロフ・ウイス展

7月15日(土)~11月6日(月)

会場：当館第3展示室

入場無料

## 次回展のご案内

「開館30周年記念 益子日帰り  
旅する染色家 芹沢銈介」

2023年 2024年  
10月22日(日)~1月8日(月・祝)

※今後の状況により展覧会予定に変更が生じる場合がございます。  
最新情報は当館ウェブサイト・Facebook・Twitter・Instagram等でご確認ください。

## Access

## 益子陶芸美術館

Mashiko Museum of Ceramic Art

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3021

TEL.0285-72-7555

www.mashiko-museum.jp

アクセス：【バス】東武宇都宮駅(西口1番バス乗り場)、JR宇都宮駅(西口14番バス乗り場)から関東バス益子行、または秋葉原駅より茨城交通高速バス「関東やきものライナー」並岡・益子行、陶芸メッセ入口下車徒歩約2分。【鉄道】JR小山駅から水戸線「下館」駅下車、下館駅から真岡鐵道「益子」駅下車徒歩約25分。【自動車】常磐自動車道友部JCT経由、北関東自動車道「桜川筑西」ICから約20分。東北自動車道栃木都賀JCT経由、北関東自動車道「真岡」ICから約25分。 ※運行状況は各交通機関にご確認ください。

